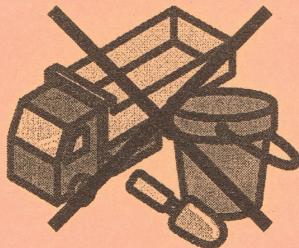
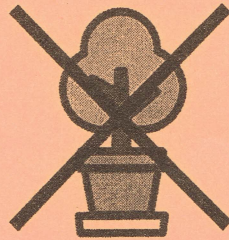


デング熱の感染もと ヒトスジシマカの 発生源を叩け!

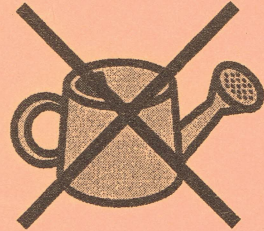
公園だけでは
ありません!



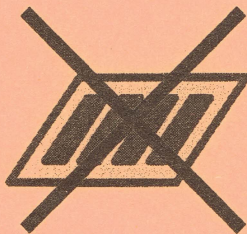
屋外に放置された
子供のおもちゃ



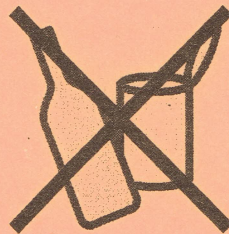
植木鉢の皿



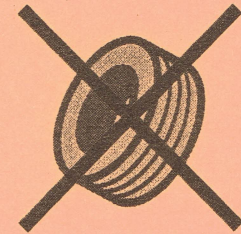
雨ざらしのじょうろ



排水溝



屋外に放置された
空きビン・缶、ペットボトル



古タイヤに
溜まった水たまり

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が1週間から2週間ほど続きます。

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、今シーズンや翌年に発生する蚊の数を減らすことができます。

デング熱は人から人へは
感染しません。

[ヒトスジシマカ]

青中に一本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ごろまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、最近では敷・墓地・公園などでも見られるようになりました。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

